

# JOMA通信



Japan Overseas Missions Association 海外宣教連絡協力会 公報

No. 82号

## 2018年度を振り返って

2018年度 JOMA会長  
OM日本 理事長  
**酒井 信也**

これまでのJOMAの活動は、加盟団体が輪番制で務める、任期2年の4名の役員が主に中心となって、行なわれてきました。そのため、様々な企画を立てて行なってもそれを継続していくことに困難を覚えていました。しかし昨年、長年の祈りが答えられ、JOMAに専任の主事が与えられました。一年の活動を振り返ってみて、これからJOMAとして本格的な活動を展開していくことに大きな期待を抱いています。

### 2018年11月23日第2回日本青年伝道会議(NSD2)、分科会「76億人に福音が届くまで」

JOMAとして世界宣教の分科会を担当してほしいとの要請に応え、3団体で分担して分科会を行ないました。活動分野の異なる3団体によるチャレンジは、参加した青年たちに世界宣教に対する広い視野を持たせることができたと思います。



← NSD2の分科会で宣教師への導きを話される塚田献先生

松丸嘉也先生とストレッチをする青年たち→



### 2018年12月6日JOMA宣教賛美コンサート

ソプラノ歌手 坂井田真実子姉を迎え「世界の各宣教地をライブに繋ぐコンサート」というユニークなコンサートをお茶の水クリスチャンセンターにて開催しました。インターネットのライブ中継で様々な国の宣教師たちに日本からの歌声を届けるとともに、宣教師たちからの生の声と映像を宣教地から会場に集まった皆さんに届けるという試みです。ウェブを通してどこからでも視聴できるので、地方にある私たちの教会でも十数名が集まり、コンサートの鑑賞会を開きました。(写真 ↗)



← コンサートの坂井田姉(中央) 来場者80余名、全世界18ヶ所以上で視聴された

写真提供 = クリスマス新聞

コンサートの中継をネット経由で見、地方教会の方々 →



### 2019年1月17日JOMA宣教セミナー

これもインターネット会議システムを用いて、宣教地にいる宣教師たちと双方向の通信により宣教活動報告と祈りの課題の共有、会場にいる参加者との質疑応答の時間が持たれました。従来の宣教セミナーは日本に帰国している宣教師を招いて行なうわけですが、アプリの性能向上と世界的なネット環境の整備により多くの国の宣教師とスムーズな双方向通信が可能になってきています。今回はJOMA加盟団体4団体からの宣教師に協力をいただき、お一人は地球の裏側、南米チリから参加してくださいました。

宣教師の方々を映し出すネット会議システムの画面 →



← ネット経由で宣教地からの生の声を聴く参加者の皆さん

今回のコンサートとセミナーはどちらも都心の会場での開催でしたが、ネットを通じてどこにいても参加できることが確認できました。2019年度も同様な活動を継続する中で、このような機会が全国各地の教会で用いられ、世界宣教への啓蒙活動につながるように願っています。

## 宣教の荒野で41年

### ブラジルの宣教師 佐藤浩之

「あなたの神、主が、この40年の間、荒野であなたを歩ませられた全行程を覚えていなければならない。」  
申命記8章2節。

私は41年間のブラジル宣教師の奉仕を終えて、昨年引退しました。宣教の荒野で主に導かれた恵みの行程を証しできたらと思います。申命記8章でモーセは使命を担う若い後継者たちに語ります。40年の過酷な荒野生活は、民が神の良き働き人となるための訓練であったと。



佐藤浩之師と文代夫人

第一は真の神を知り親密な交わりを持つ訓練でした。「神は民を試みて神の命令を守るかどうか、心の内を知るためだった」。異教の中で育った頑固な民が、御言葉により真の神を発見し、自分の破滅的な罪を知り、悔い改めて回心に至るまでは簡単ではありませんでした。私はカナダ人宣教師に導かれて聖書を学び、真の神を知り、自分の罪を発見し、多くの葛藤の末に悔い改めました。イエスを信じて生まれ変わると、更に信仰成長のために何回も醜い自我を砕かれる経験をしました。この明確な救いの経験が土台となり、主から召命を受けブラジル宣教へと導かれました。

第二は、神が働き人の必要を満たされることを信じて従う訓練でした。イスラエルの民は40年間の荒野生活で、神の奇跡的な支援を何度も経験しました。エジプト脱出、紅海の横断、火の柱、雲の柱、日ごとのマナ、湧き出す水など。極限状態で生きている無力な民が、「人はパンだけで生きるのではない、主の口から出るすべてのもので生きる」ことを体験させられました。神の言葉に従って霊肉共に生かされる経験は宣教師にも必要です。



2000年頃の南米宣教会の総会に勢揃いした宣教師たち4家族  
中田師、三浦師夫妻、塚田師夫妻、佐藤師夫妻

私はブラジル宣教に派遣される前に、南米宣教会の理事たちから言われた忠告を今も忘れません。「この宣教会はフェイスミッションです。あなたに払う給料も宣教資金もありません。すべての必要は神から満たして頂きたい。あなたを選んだのも派遣するのも神です。理事会に頼らず生ける神に頼りなさい。もし必要が満たされない場合は、神の召しではなかったのだと思い、宣教師を辞めて別の奉仕を探しなさい。ただ理事会は主の御旨がなるように祈ります」。これは素晴らしいアドバイスでした。ひたすら真剣に御言葉を聞き、悔い改め、信じて従い続け、諸教会に祈って頂きました。エリヤの信仰が私の模範でした。「私の仕えている主は生きています」という信仰によって、彼は厳しい状況の中で守られ宣教の任務を全うしました。私たちも信じ従い続けると、主が私達の支援献金を長年に渡って十分に満たし、命の危険からも守って下さったので、一度も宣教師を辞めたいと思いませんでした。宣教地で4回も強盗に襲われたり、屋根から転落し重傷を負いました。しかし主は、「恐れないうで語り続けなさい。私が共にいるのだ。」と語られました。私は立ち直る度に「私の主は生きています」と確信を強め前進できました。

最後の忠告は、働き人が成功を得た時の油断と反省です。恵に慣れると心が高ぶり主を忘れます。宣教師や牧師が信者の人数、立派な会堂、経済力の豊かさ、事業の成功などを自慢するようになると心が主から離れて行きます。そして世の誘惑に負けて罪に落ちて行きます。ブラジルで5人の有能な牧師が罷免されました。彼らは伝道熱心で、多くの人を救いに導き、大教会を建てあげた成功者でした。しかし彼らの心は主から離れて、お金の誘惑や性的誘惑に落ち込み、警告を受けても悔い改めませんでした。

南米宣教会の方針は宣教師を守りました。「開拓伝道して生まれた教会で新教団を作らず、現地の友好教団に譲渡せよ。」これまで生まれた5つの教会は譲渡され、南米宣教会のものはありません。捧げた宣教師を始め、教会も友好教団も共に感謝しています。働きの栄光は主のものです。

引退後も私たちは現地に永住し、高齢の日本移民の方々を訪ねて巡回伝道に励んでいます。

## お祈りください・・・

- ◆ チャーチ・オブ・ゴッド国外宣教部 .....
  - \* グアダラハラ教会がキリストの香りを放つものとして健全に成長していかれるように。
  - \* 教会でやっている学校がキリストの弟子をメキシコ社会に送り出していけるように。
  - \* 阿部和子宣教師、山田若葉姉、学校の先生方、教会のリーダーたちが守られ用いられるように。
  - \* 治安の悪い中での守りと教会、学校の経済的必要が満たされるように。
  - \* グアダラハラの働きの今後について良き導きが与えられるように。この時代の中で、創立41年目以降の当宣教会の使命とあり方が主に導びかれ続け、主のみ力によって、なすべきことをなし続けられるように。
  
- ◆ 東京フリー・メソジスト教団宣教委員会 .....
  - \* 2018年12月より、ブラジルサンパウロに矢花祈・来子宣教師ファミリーを派遣しました。小学校低学年のお嬢さんお二人も含めて、だんだんと現地での生活に慣れることができますように。福音のために用いられますように。また、世界宣教に対してさらに重荷と祈りと一致とをもつ私たち日本の教会にとっても、成熟の機会となりますように。
  - \* タイで長年労されてきた野尻孝篤・明子宣教師が昨年帰国され、宣教師としての働きを全うされました。健康の戦いに、主の大きな助けがありますように。
  
- ◆ 東洋ローア・キリスト伝道教会海外宣教委員会 .....
  - \* 東洋ローア・キリスト伝道教会の創立者、エミ・エダ・コリエル宣教師が、2018年12月27日フィリピンで午後3時30分に召天された。
  - \* 今年4月30日、本教会で納骨式を行うので、お祈りください。
  - \* 北海道旭川市の老人ホーム(とわの鐘の家)に住んでいる安森ハル姉と山内佐代子姉お二人の健康のために。(二人はコリエル宣教師と共にフィリピンへ宣教奉仕された)。
  - \* 宣教師を遣わすために献身者を起こすことができるように。
  
- ◆ 南米宣教会 .....
  - \* 高齢化している日本人移民一世への最後の日本語伝道のため。
  - \* ブラジル、パラグアイ、アルゼンチン等の南米諸国へ移民された日本人への宣教師が起こされますように。
  - \* ブラジلمانナウスにあるジョセフィーナ学校、福祉センターの働きを通しての福祉宣教のために。
  
- ◆ JOMA(海外宣教連絡協力会) .....
  - \* 宣教地にある宣教師方を、教団・団体を超えて支えられるJOMAになりえるよう、強められますように。

## JOMA協力会員へのご参加と加盟団体候補ご紹介のお願い

JOMAは、各宣教の地での戦いにある宣教師方にとって、また、背後にある宣教団体・教派団体や多くの教会の皆様にとって、より意義のある「活動するJOMA」として、さらに活発に情報や知恵の共有、ネットワークのご提供をして参りたいと願っております。そのために、さらなる必要を満たすべく、JOMA規約第5条に基づき、協力会員(個人:年会費12,000円)を募集いたします。つきましては、皆様ご自身、または周囲の方で、世界宣教に重荷を持つ個人の方の積極的な入会をお誘い申し上げます。入会ご希望の方は、JOMA事務局まで、お問い合わせ下さい。(e-Mail: office@joma.jp)

(参考)JOMA規約 第5条の2: 協力会員とは、個人において世界宣教に重荷を持ち、JOMAの活動に協力及び支援をする者とする。総会にはオブザーバーとして参加し、議決権、選挙権および被選挙権を持たないものとする。

なお、引き続き正会員としての加盟団体も募集いたします。海外宣教をおこなっている宣教団体、教派団体が、共に主に在って一つの戦いを勝ち取るために、より強固なネットワークを構築すべく、もし未加入の団体をご存じの場合は、積極的な入会をお誘い下さい。

今後も引き続き、お祈りをお願いいたします。

## 総会のご案内

下記のようにJOMA総会を開催いたします。正会員の加盟団体の方は事務局よりご連絡をいたしますので、ご参加下さいますよう、お願い申し上げます。

### 記

日時: 2019年4月23日(火)  
 場所: OCCビル 411号室  
 プログラム: 11:00 ~ 12:30 セミナー「要配慮環境での宣教現場よりの報告」西山真 宣教師  
                   前半: 報告  
                   後半: 質疑応答 共に祈る時間  
 12:45 ~ 13:30 昼食と交わり  
 13:30 ~ 15:30 総会

以上

## ♠ JOMA 事務局だより ♠

JOMA事務局は、お金がありません。毎月の事務所の室料等の振り込みもATMで現金を下ろしてきて、直接支払いに行かなければならないくらい、経済的に課題を抱えています。しかし、神様は無駄なことは何一つなさいません。困難はチャレンジであると同時に、大きな恵みと知恵も頂戴していることを再確認する2018年度でした。

まず、昨年度から外部に編集を委託していたJOMA通信や、派遣宣教師一覧は内製するよういたしました。素人編集で拙い出来ですが、そのおかげで何も知らなかった私が、宣教師方のお顔写真を一つ一つ編集する作業を通じて、宣教地のお働きを覚えさせていただききっかけとなりました。また、役員会の交通費が経費を圧迫しますので、役員会はインターネット会議システムを活用するよういたしました。このことは、経済的利点のみでなく、ご多忙な役員の方のお時間軽減にもなり、また、ご出席の時間調整も容易になりました。

そして、この会議システムに役員会のメンバーが慣れたことで出てきた案が、巻頭言に酒井先生が書いてくださった、世界ネット中継の賛美コンサートと、ネット会議システムで宣教地から生の声を届けていただくという試みでした。ネットを使えば、地球の裏側にも声が届きますから、戦いの最前線にある宣教師方に日本から応援の歌声を届けたい、そんな思いで企画したコンサート。当日は、世界各地や国内の少なくとも18か所以上で中継を見て下さりました。会場に集まって下さった80余名の方々には、宣教地から生で声が届き、現地のお働きについて教えていただくことができ、海外宣教にあまりなじみのなかった会場の方々からは、思わずどよめきや拍手が巻き起こりました。(コンサートの様子は [https://www.youtube.com/watch?v=oj1EK\\_IG2h8](https://www.youtube.com/watch?v=oj1EK_IG2h8) でご覧いただけます)

また、同じようにインターネットの会議システムを活用した JOMA宣教セミナーでは、宣教師4名にご登壇いただき、宣教地からの生のご報告と共に現地語での賛美まで披露していただきました。会場にはKGKの学生さんも参加され、地球の裏側のLogos Hope号から、将来の乗船を勧める熱いラブコールも届きました。

JOMAの強みは、教団・団体がその枠を超えて協力していることにあります。日本青年伝道会議での分科会で3団体から多角的にお話しをできたことは、その意味でまさにJOMAの強みを生かした活動でした。今、2019年度の派遣宣教師一覧を編集させていただきながら、この2年で派遣されている宣教師数が少しずつ減っていることを感じています。その背景には、日本のクリスチャンの減少や高齢化、要配慮環境等様々な課題があると思いますが、このような時だからこそ、これからは、同様の働きにある教団・団体に、さらにさらに加盟していただき、共に御言葉を広める戦いに立つ者同士、強め合い、協力の輪が広がることを願って止みません。

お金がないからと活動をしなかったら、JOMAの存在意義がありません。しかし、経済的課題すら知恵の恵みに変えてくださる主に信頼して、2019年度も歩みを進めて行ければと願っています。

2019年3月 JOMA事務局 主事 大間 哲

## ◆ JOMA ホームページ、Facebookページ、事務局メールアドレスのご案内 ◆

ホームページ <http://www.joma.jp/> / Facebookページ <http://fb.me/JOMA.Office>  
 メールアドレス: office@joma.jp (旧アドレス jomaofficekanda@gmail.com でもしばらくは届きます)

